赤平市立小・中学校適正配置計画【変更】を
（平成29年度～平成33年度）
策　定

平成23年６月、学校関係者や学識経験者などで組織した「赤平市学校教育条件整備審議会」による「赤平市立小・中学校の適正規模、適正配置について」の答申を充分に尊重し、検討を重ね、平成24年1月に「赤平市小・中学校適正配置計画（平成24年度～33年度）」を策定しました。

計画策定後約５年を経過し、具体的なスケジュールや校舎の整備方法などが未定であった小学校統合について計画することを目的に、「赤平市小・中学校適正配置計画【変更】」を策定しました。

問合せ　学校教育課　☎32-1822

現計画（平成24年策定）による適正配置の取組

【平成26年４月１日】
茂尻小学校と住友赤平小学校、平岸小学校の３校を統合

※現計画のとおり実施。

【平成30年４月１日（予定）】
赤平中学校と赤平中央中学校を統合

※現計画では平成28年４月１日の予定。
赤平高校跡地を北海道から譲渡されることになり、施設の整備方法を当初の大規模改造一部増築から新築へ変更したため、平成30年に先送り。

子どもの推移

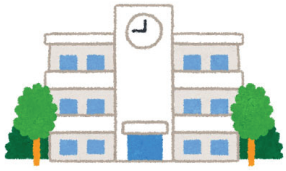
次頁の「児童・生徒数及び学級数の推移」で示されているとおり、６学年６学級（１学年１学級）を維持できる学校は、豊里小学校及び赤間小学校の２校で、茂尻小学校は平成33年度及び34年度において複式１学級の５学級となる見込みです。転出者が見込みより増加する場合など、複式学級になる年度は早まる可能性があります。

現計画の変更と小学校の適正配置

計画策定後約５年を経過し、小学校の後期適正配置計画に位置付けられ、実施年度などが未定でした赤間小学校と豊里小学校の統合について具体的な計画を策定することを目的に、赤平市立小・中学校適正配置計画【変更】を策定しました。

現計画では、赤平市学校教育条件整備審議会の答申を尊重し、複式学級の解消を含め一定規模以上の学校づくりを基本方針に計画を進めてきました。今後についても、この基本方針に沿って適正配置を進めますが、少人数によるきめ細やかな指導の有利性も考慮しながら、検討します。

その際の通学区域の変更（弾力的な運用）につきましては、引続き保護者を含め関係者と協議しながら検討します。









適正配置計画【変更】の概要

豊里小学校と赤間小学校を統合します。

統合小学校は、統合中学校を新築後に現赤平中学校を除却し、その跡地に国の負担金事業を利用して整備します。

ただし、統合協議を進める過程で、児童数の減少などにより茂尻小学校を含めた3小学校の統合が望ましいと判断される場合は、保護者・地域住民と意見交換を行い、市内1校とします。

※現計画で統合計画がなかった茂尻小学校は、児童数の推移を見ながら、市内1校の是非について、定期的に意見交換を行う予定です。

豊里小学校と赤間小学校の統合(場合によっては茂尻小学校も含む)は、平成34年4月1日をめざします。

※新築による整備にあたり、学校現場、組織予定の「小学校統合準備委員会」の意見を伺いながら検討するため、相当の期間が必要になります。現時点で統合小学校の完成は、平成33年12月を予定しています。

児童・生徒数及び学級数の推移(平成28年度～平成34年度)

※学級数は、普通学級(特別支援学級を除く。)を計上
※ ▭ …複式学級

	H 28 年度	H 29 年度	H 30 年度	H 31 年度	H 32 年度	H 33 年度	H 34 年度
	児童数(生徒数)	児童数(生徒数)	児童数(生徒数)	児童数(生徒数)	児童数(生徒数)	児童数(生徒数)	児童数(生徒数)
	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数	学級数
茂尻小	87	75	76	65	56	54	51
	6	6	6	6	6	5	5
豊里小	74	74	75	69	70	68	62
	6	6	6	6	6	6	6
赤間小	173	185	179	173	157	156	151
	6	6	6	6	6	6	6
赤平中	150	130	112	112	133	134	135
	6	5	4	4	5	5	5
中央中	71	68	54	50	44	47	40
	3	3	3	3	3	3	3

※平成30年度から赤平中学校と中央中学校は統合します。





